

# 2025 学生支援懇談会議事要録

開催日時：2025年8月6日（水）14時30分～16時00分

場 所：総合校舎4階大講義室

参加者：

- ・ 専門法務研究科の学生計17名（1年生：4名（うち女性2名）、2年生：9名（うち女性0名）、3年生：4名（うち女性0名））
- ・ 教職員：研究科長、学務委員長、学生支援委員等の教員、学務事務担当者

## 〔懇談の概要〕

### ● AIと共に生きる時代の大学での学びについて

- ・ 現在のAIは汎用人工知能（AGI）に達していないので、学習面では使っていない。家事などの日常生活に使っている。（既修3年生）
- ・ 講義レジュメや過去問を読み込ませて、AIに小テストを作ってもらったことがある。（既修2年生）
- ・ 自分で書いたレポートを読み込ませて、論理的な飛躍があるところを指摘させ、それを踏まえて修正している。文章の校正に使用している。（未修1年生）
- ・ ChatGPTに判例を学習させたうえで、どういう意見がありうるかを質問している。
- ・ 学部時代に英語の翻訳に使用したことはある。（既修3年生）
- ・ 質問能力を身につけないとAIをうまく活用できない。質問能力を向上させるために大学で学ぶ意義がある。（既修3年生）

### ● カリキュラムや授業日程について

- ・ 中間試験の期間に対して科目数が多く、負担が大きい。日数を増やすまでいかないとしても、土日を挟むなどの調整を行って欲しい。（未修2年生）
- ・ 中間試験の日程を増やしてほしい。3日間では短いのではないか。再履修があると、人によっては一日3～4科目試験がある。期末試験くらいの長さにしてほしい。（既修3年生）  
⇒GWにも授業をやる、祝日にも授業をやるということにすれば、中間試験を5日にできるのだが、スケジュールは厳しくなる。講評時間を60分等短くして、講評日程を短縮することはありうるのではないか。（学務委員長）  
⇒中間試験を80分→60分等にすることはありうるのでは。ただしその場合、問題の量も少なくすることになる。（教員）
- ・ 2年生になって勉強の総量は増えたが、1年生に比べてきついということはない。（未修2年生）
- ・ 1年生の夏休みの勉強法について、基礎民事法特論、基礎刑事法特論の基本書等を読んだりしたが、思い返すと前期の内容を復習すべきと思った。（未修1年生）  
⇒司法試験の勉強とローの勉強は重なるところもあるが、違うところもある。何の勉強をやるか次第では。いつ試験を受けるのかなど計画を立てる必要がある。（教員）

- ・ 司法試験選択科目については、3年生になってから選択することを想定しているカリキュラムになっているが、3年生からでは間に合わないため2年生でもとれるのではないかと思った。そのため、今年は選択科目を履修した。また今年度は、2年次科目の民法が後期に集中していることもあり、そのような履修をした。(未修2年生)  
⇒倒産法や労働法などは民事関連法の応用科目なので、2年生での履修は難しいと考えている。もし2年生からとれるようにすると単位上限を上げないといけない。(学務委員長)

● 授業に関して何か要望・不満等はあるか

- ・ 基礎刑法1、基礎刑事法特論1で毎回起案していて、刑法が定着した気がする。後期の基礎民事法特論1が前期にあれば、教わりながら起案練習ができて、勉強がより進むのではないか。(未修1年生)  
⇒1年生は、既修に近い人と、純粹未修の人が混ざっているのが難しい。今年はたまたま基礎民事法特論1が後期になっている。インプットが完全に終わっていないのにアウトプットができるのかという懸念もある。民法はある程度分かってから書く練習をしたほうがよい。(学務委員長)
- ・ 1年生から：純粹未修で書き方がわからない中で、中間試験でいきなり民法の答案を書くのは難しい。(未修1年生)  
⇒今ある科目のなかで答案作成のフォローができないか検討する。(学務委員長)
- ・ 英米法、政治学は3年生後期でとってほしい科目なのか。授業内容は関心があるが、先に司法試験に直結する科目をとるべきなのか、3年生で司法試験に直結する科目をとるべきなのか。(既修2年生)  
⇒3年生のほうがよいと思う。2年生は民事実務基礎2を履修したほうがよい。(学務委員長)

● 本研究科の雑誌やデータベースについて

- ・ 資料室の失われた書籍の補充がない。(未修2年生)
- ・ 昨年、資料室から120冊くらいの資料がなくなって、戻ってきたという話は聞かない。今年は、昨年ほど資料がなくなったという話はあまり聞かない。9月に資料整理を行う際にまた確認をする。(未修3年生)
- ・ 開架の方は紛失が激しい。書庫(ノブを回して開けるほう)の資料はあまり持っていないかと思う。(未修3年生)
- ・ 借りるときは名前をリストに書かないといけないが、そのルールが徹底されていないかと思う。(未修3年生)

● 本研究科の設備に関して何か要望・不満等はあるか

- ・ 建物自体の築年数がかなり経っている。施設内のエアコンが古いので、寒すぎるところと暑すぎるところがあって、むらがある。大学の設備担当のほうにエアコンについての要望は出してほしい。(未修3年生)

- ・窓が汚い。空調点検(換気口)の際、真下にカバー等をつけないで作業するので、換気口の下にある座席に大量の羽虫の死体や埃が散らばる。(未修2年生)
- ・時計がある教室とない教室がある。試験の際はみんな時計を持ってきているが、ある部屋とない部屋があるのが気になる。(既修2年生)  
⇒他の部局の部屋については時計をつけてほしいとは要望しづらい。(学務委員長)
- ・自習室の換気能力がエアードックでは足りない。人数が多いので、換気能力が足りない。(未修3年生)
- ・掃除機が少し古い。(未修3年生)

### ● CBT 受験に関して

- ・CBT 受験に対応した起案演習をしてほしい。(未修3年生)
- ・他の大学だと、CBT での定期試験が始まっている。この大学も定期試験も CBT に移行を検討してほしい。人によって持っている PC のスペックが異なる (Word 入力の手が速いかなど)。あまりにもスペックの劣る PC を利用している人もいるので、経済的な事情でハイスペック PC を買えない人への補助が必要では。(未修3年生)  
⇒持っている PC のスペックが低いという問題は、こちらが持っている PC を貸すという方法があるのでは。貸し出し用 PC の準備ははじめています。CBT センターの PC モニター対策は予算的に厳しい。(研究科長)  
⇒東大ローが後期から一部科目で CBT 試験にするらしい。おそらく自分でデバイスを持ってくるかたちになる。千葉大学では、後期からすべての授業で CBT 試験というのはむずかしい。起案練習など成績に関わらないところから徐々に導入するという事はありうる。東大の状況などもう少し調べる予定。(学務委員長)
- ・CBT だと問題文は配られないのか。そうすると、問題文に書き込めないのが不安。(未修3年生)  
⇒問題文は配られないが、答案構成用紙は配られるはず。(教員)
- ・CBT センターは、ボールペンのみ持ち込み可能なのかなど、どんな筆記用具なら持ち込めるのか、法務省に聞いてほしい。CBT センターを 47 都道府県に設置するというが、足りないとならば近隣県になると聞いたが、千葉の人は千葉県で受けられるのか、法務省に聞いてほしい。(未修3年生)  
⇒法科大学院協会を通じて、法務省に質問をすることになるが、法科大学院協会がとくにアンケートをもう一回やるかわからない。なので、対応してもらえるかはわからない。(研究科長)

### ● 日常生活に関して何か要望・不満等はあるか

- ・学生同士のトラブル等はほぼ聞かない。(未修3年生)
- ・学生数が増えたので、リフレッシュルームの冷蔵庫が小さいのでは。(未修3年生)
- ・コピーカードが生協で買えず、現在ブックセンターでしか買えないのに、コピーカードでしかコピーできない。コピーカードが近い将来なくなってしまうので、コイン式

のコピー機にならないか。(未修3年生)

⇒コピーカードの件は、生協を通して業者に確認してもらおう。(教員)

- 空き教室の利用についてのルールは守られているのか。夜中にエアコンをつけて大講義室を1人で使っていた人がいた。エアコン稼働について電気代の面からも気になる。利用の在り方について院生会の中で話し合っしてほしい。(学務委員長)

⇒空き教室はカレンダーに予約して使用することになっている。院生会の中で話し合っておく。修了生には注意しづらい面はある。(未修3年生)

以上